

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒135-0061 東京都江東区豊洲三丁目2番24号
 ルネサス エレクトロニクス株式会社
 問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/contact/>
 E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU & MCU	発行番号	TN-RL*-A065A/J	Rev.	第1版
題名	RL78/G1H 制限事項について		情報分類	技術情報	
適用製品	RL78/G1H グループ R5F11Fxxx	対象ロット等	関連資料	RL78/G1H ユーザーズマニュアル ハードウェア編 Rev. 1.10 R01UH0575JJ0110 (April 2016)	
		全ロット			

RL78/G1H ユーザーズマニュアルハードウェア編 Rev. 1.10 (R01UH0575JJ0110)において、下記訂正がございます。

今回通知する訂正内容

訂正箇所	該当ページ	内容
(4) GPIO0/CLKOUT、GPIO1/ANTSELOUT0、GPIO2/ANTSELOUT1、GPIO3、GPIO4/ANTSW	P.550	機能制限
(2) RF 基準クロック出力	P.554	機能制限
表 18 - 15 各 RF モードの端子の状態	P.677	機能制限

ドキュメント改善計画

本訂正内容については、次回ユーザーズマニュアル改版時に修正を行います。

ユーザーズマニュアルの訂正一覧

No	訂正内容と該当箇所		本通知での 該当ページ
	内容	R01UH0575JJ0110	
1	クロック出力(CLKOUT)の機能制限を追加	P.550	P.3
2	RF 基準クロックの分周したクロックの機能制限	P.554	P.3
3	CLKOUT の RF 送信、RF 受信時での機能制限	P.677	P.4

発行文書履歴

RL78/G1H ユーザーズマニュアル Rev. 1.10 の記載変更通知 発行文書履歴

文書番号	発行日	記事
TN-RL*-A065A/J	2016年10月17日	初版発行 訂正一覧 No1 (本通知です。)

1. (4) GPIO0/CLKOUT、GPIO1/ANTSELOUT0、GPIO2/ANTSELOUT1、GPIO3、GPIO4/ANTSW (P. 550)

斜線部を削除し、機能を制限します。

(変更前)

(4) GPIO0/CLKOUT、GPIO1/ANTSELOUT0、GPIO2/ANTSELOUT1、GPIO3、GPIO4/ANTSW

5ビットの入出力ポート端子です。

GPIO0端子は、クロック出力(CLKOUT)機能を兼用し、デフォルトはGPIO0端子となります。

~~クロック出力(CLKOUT)機能を使用する場合、~~本クロック出力をEXCLK端子に接続することにより、~~MCU部の外部メインシステムクロックとして、使用することもできます。その場合、ユーザ基板上で、本端子とEXCLK端子を接続してください。~~

GPIO1、GPIO2端子はアンテナダイバシティ用スイッチ制御の機能を兼用し、デフォルトはGPIO1、GPIO2端子です。

GPIO4端子はANTSW信号の機能を兼用し、デフォルトはGPIO4端子です。

(変更後)

(4) GPIO0/CLKOUT、GPIO1/ANTSELOUT0、GPIO2/ANTSELOUT1、GPIO3、GPIO4/ANTSW

5ビットの入出力ポート端子です。

GPIO0端子は、クロック出力(CLKOUT)機能を兼用し、デフォルトはGPIO0端子となります。

クロック出力(CLKOUT)機能を使用する場合、**クロック出力機能はRF送信、RF受信を行っている際には使用しないでください。**

GPIO1、GPIO2端子はアンテナダイバシティ用スイッチ制御の機能を兼用し、デフォルトはGPIO1、GPIO2端子です。

GPIO4端子はANTSW信号の機能を兼用し、デフォルトはGPIO4端子です。

2. (2) RF 基準クロック出力 (P. 554)

斜線部を削除します。

(変更前)

(2) RF 基準クロック出力

RF 基準クロックの分周したクロックを、CLKOUT 端子から出力することができます。出力設定ができる周波数は、12MHz、8MHz、4MHzとなります。~~本クロック出力をEXCLK端子に接続することにより、MCU部の外部メインシステムクロックとして、使用することもできます。その場合、ユーザ基板上で、本端子とEXCLK端子を接続してください。~~

(変更後)

(2) RF 基準クロック出力

RF 基準クロックの分周したクロックを、CLKOUT 端子から出力することができます。出力設定ができる周波数は、12MHz、8MHz、4MHzとなります。

3 表 18 - 15 各 RF モードの端子の状態 (P. 677)

斜線部を削除し、動作禁止にします。

(変更前)

表 18 - 15 各 RF モードの端子の状態

端子	SLEEP	IDLE	RF送信	RF受信
STANDBY	ロウ入力	ハイ入力	ハイ入力	ハイ入力
OSCDRVSEL 内部端子	ロウ入力 (XTAL_RF 発振時) ハイ入力 (REFCLKIN_RF 外部クロック時)	ハイ入力	ハイ入力	ハイ入力
DON 内部端子	ロウ入力	ハイ入力	ハイ入力	ハイ入力
RFRESETB 内部端子	ロウ入力	ハイ入力	ハイ入力	ハイ入力
INTOUT	Hi-Z	動作可	動作可	動作可
CLKOUT	Hi-Z	動作可	動作可	動作可
GPIO0	Hi-Z	動作可	動作可	動作可
GPIO1				
GPIO2				
GPIO3				
GPIO4				

(変更後)

表 18 - 15 各 RF モードの端子の状態

端子	SLEEP	IDLE	RF送信	RF受信
STANDBY	ロウ入力	ハイ入力	ハイ入力	ハイ入力
OSCDRVSEL 内部端子	ロウ入力 (XTAL_RF 発振時) ハイ入力 (REFCLKIN_RF 外部クロック時)	ハイ入力	ハイ入力	ハイ入力
DON 内部端子	ロウ入力	ハイ入力	ハイ入力	ハイ入力
RFRESETB 内部端子	ロウ入力	ハイ入力	ハイ入力	ハイ入力
INTOUT	Hi-Z	動作可	動作可	動作可
CLKOUT	Hi-Z	動作可	動作禁止	動作禁止
GPIO0	Hi-Z	動作可	動作可	動作可
GPIO1				
GPIO2				
GPIO3				
GPIO4				